

帯広畜産大学自己点検・評価ポリシー

帯広畜産大学は、知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域及び国際社会に貢献することをミッションとしている。このミッションの達成には、すべての教育及び研究、組織及び運営、並びに施設及び設備について、Plan (計画)、Do (実行)、Check (点検)、Action (処置)から成るサイクルを繰り返すという継続的な改善が必須となる。そこで、全学の総合的な内部質保証システムを維持・向上させるために、以下のような方針で自己点検・評価を行うこととする。

1. 自己点検・評価は、本学が定めた中期目標・中期計画及び年度計画、並びに（独）大学改革支援・学位授与機構が定める大学機関別認証評価の基準等と照らし合わせ、根拠資料・客観的なデータを用いて行うことを基本とし、大学情報分析室の協力のもと大学内の各部局で実施する。
2. 自己点検・評価の実施時期は、中期目標・中期計画及び年度計画については毎年度、全学の総合的な自己点検・評価については大学機関別認証評価を受審する前までに実施する。
3. 各部局での自己点検・評価結果は、戦略会議において精査し、役員会、経営協議会、教育研究評議会において改善に向けた検討・審議を行う。
4. 自己点検・評価結果に関する役員会、経営協議会、教育研究評議会からの意見・助言等をもとに、各部局ではさらなる改善・改革を着実に推進する。
5. これらの活動については、客観性および透明性を確保するため、その結果について積極的に公表する。